

<事業名> 障害者アートの作家・作品発掘・発信事業

団体名	特定非営利活動法人がっせえアート
所在地	養父市八鹿町
代表者名	茨木 やよい

事業内容	<p>1. 月1回運営委員会を開催し、事業の計画と実施について検討した</p> <p>2. 7・8月の2か月間、コウノトリ文化館にてがっせえ水族館展を開催した</p> <p>3. 10月23・24日、関宮文化祭に特別出展した</p> <p>4. 令和3年10月31日～11月7日、豊岡市交流センター「豊岡稽古堂」にて、第12回がっせえアート展を開催した。体温測定や手指消毒、出入口を1カ所に絞る、マスクのない来場者にマスクを提供するなどのコロナ感染防止対策を行った。</p> <p>5. 展覧会図録を製作し、出展者全員に無料配布した。作品撮影は協賛企業である北星社のスタジオと機材を無償で借用し、ボランティアメンバーで行った。</p> <p>6. がっせえアート賞及び各賞を選定し、表彰式を開催した。共催先である豊岡市においても市長自ら作品を選定され、表彰式にも出席された。また、第1回からのチャリティー展協力者である鉄の作家である近藤明氏にも作家賞の選定を依頼し「近藤鉄工房賞」が授与された。</p>	
地域	但馬全域	
事業の効果	<p>①団体（組織）内の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの高齢化が進む中でもやり遂げた感があった <p>②地域への効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来場者は、昨年1100人を超えたと喜んでいましたが、今回は1496人であり大きく増加した。福祉の実現、芸術の提供、地域の活力の増進に貢献したと思われる ・八鹿病院看護専門学校から先生と生徒、実質22人のボランティア参加があり、豊岡市はじめ参加福祉施設の職員の協力もあり、より地域を巻き込んだイベントになった 	
令和3年事業経過	<p>4月1日～</p> <p>6月4日</p> <p>7月1日</p> <p>7月2日</p> <p>7月13日</p> <p>8月22日</p> <p>9月7日</p> <p>9月12日</p> <p>9月19日</p> <p>10月1日</p> <p>10月20日</p> <p>10月23日</p> <p>10月30日</p> <p>10月31日～</p> <p>11月12日</p> <p>11月22日</p> <p>12月4日</p>	<p>第12回がっせえアート展応募書類発送</p> <p>運営委員会 オンサルデ／養父市</p> <p>がっせえ水族館展～8月31日／豊岡市／コウノトリ文化館</p> <p>運営委員会 オンサルデ／養父市</p> <p>コウノトリ共生課と特別展示打ち合わせ オンサルデ／養父市</p> <p>図録用撮影 北星社／豊岡市</p> <p>ポスター・チラシ発送作業 オンサルデ／養父市</p> <p>金具・ボード確認作業 ペア／養父市</p> <p>ボード補修作業、ペンキ塗り ペア／養父市</p> <p>運営委員会 オンサルデ／養父市</p> <p>新聞社に取材・掲載依頼 新聞各社／豊岡市</p> <p>関宮文化協会特別展がっせえアート関宮展～24日／養父市／関宮農林漁業者等健康増進施設</p> <p>がっせえアート展設営 豊岡稽古堂</p> <p>11月7日まで第12回がっせえアート展 豊岡稽古堂</p> <p>運営委員会、表彰者決定 オンサルデ／養父市</p> <p>受賞者・表彰式プレスリリース、記念品打ち合わせ オンサルデ／養父市</p> <p>表彰式 豊岡稽古堂</p>

協働の相手方	<p>社会福祉法人さつき福祉会（おおや作業所、ことびきライフ、たんぽぽワーク、ボランティアライフ） 出石精和園（成人寮、ひまわりの森、笑顔の森むらおか、多機能型事業所 RakuRaku） 特定非営利活動法人セルフサポートいずし（サポートハウスすみれ、らいふステーション、レインボーハウス、ワークホーム大地） 総合支援センターかのん 八鹿病院看護専門学校 認定 NPO 法人はばたけ手をつなぐ育成会 恵生園 生活支援センターほおずき 社会福祉法人とよおか福祉会（なかよし園） 豊岡市社会福祉課</p>
今後の課題等	<p>〈事業を実施する上での課題〉</p> <p>①団体（組織）の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スタッフの高齢化（初期からのスタッフは13年歳をとった。若いスタッフは仕事で参加が難しい） ・設営や撤収作業へのスタッフやボランティアの参加は多いが、企画（図録、展示）が事務局に集中し負担が大きい <p>②地域の課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催の継続を望む声は多いが、実際の推進力にはなっていない ・作品への照明ができ200点以上の作品が展示できる施設が但馬にない <p>〈令和4年度以降の事業計画〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がっせえ昆虫展／コウノトリ文化館 ・第13回がっせえアート展／豊岡稽古堂 ・がっせえアート美術クラブ展



2021年8月22日 図録撮影



2021年11月1日 がっせえアート展



第12回がっせえアート賞受賞作品



2021年12月4日 表彰式